



充実の秋 ～自然や社会に学ぶ～



10月19日（土）の神戸大運動会では、ご参加と温かい応援をありがとうございました。今年は49名もの中学生ボランティアが参加してくれました。大人に混じって頼もしく活躍する姿に、小学生も近い将来をイメージしたと思います。今年度は「自分で決めて みんなとチャレンジ」の選択種目を用意し、保護者や地域の皆様にも参加していただきました。世代を超えて支え合い、楽しんで活動する場を用意くださるまちづくり協議会、生涯学習推進会の方々の願いは「一生涯学び続けることのできる神戸地区」です。来年度は、より多くの保護者の皆様に競技へ参加していただき、共に体を動かして楽しんでいただけたらと思います。



1年 さつまいも掘り



2年 しきみ農家さん見学



3年 秋山園さんでお茶体験



5年 みどりの学校

秋は自然に触れたり、大人の仕事や社会の様子を探ったりする校外学習が目白押しです。その時の子どもの気付きは豊富で、大人の想像を超えるものです。2年生が働く人にスポットを当てた生活科探検で、大人に尋ねます。「働いていて、一番うれしいことは何ですか。」「一番楽しい時間はいつですか。」一瞬どっきりするような質問にも真剣に考えてくださり、「よい商品をお客様に無事届けられたときにほっとするし、うれしいです。」「探していた本が見つかって、市民の方が喜んでくださった時です。」「園児が成長しているなって感じた時です。」と誠実に答えてくださいました。子どもたちは、そういった思いを受け止め、自分のくらしとつなげて感謝の思いを持ち、働くことの尊さに気付きます。



10月22日（火）～11月15日（金） 「もみじ読書旬間」

前期の学校評価アンケートで「読書を楽しむ」に91.2%の子どもが肯定的な回答をしていました。昨年度より10%ほど高い数値です。今年も学校司書が「本ガチャ」を催すなど、学校図書館を楽しく居心地のよい場所にしています。「子どもは一人一人違うということ、子どもと本の結びつきは非常に個人的なものである。」「子どものなかにあ

る、よいものに手を伸ばそうとする力と、よい本の中にある、子どもに訴えかける力とを信頼しましょう」児童文学者の松岡享子さんが文春文庫「えほんのせかい こどものせかい」で語っています。今年も、全校の子どもたち一人一人に葉を渡しなが、それぞれが選んだ手元の本のお話を聞きます。どんな本と出会っているのかを知るのが楽しみです。